

事業番号	16 01 02	事業改善シート（令和4年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	交通安全対策の推進事業	部局	警察本部	課・室	交通部		
		実施期間	S29 ～	E-mail	police-keimu@pref.nagano.lg.jp		
総合5か年計画（しあわせ信州創造プラン2.0）との対応関係							
重点目標							
総合的に展開する重点政策	4-4 生命・生活リスクの軽減						

1 現状と課題

令和3年10月末現在の交通事故発生件数、負傷者数は前年と比べて増加しており、死者数は前年と比べ2人減少している。高齢者人口の増加等を背景として、死者数全体に占める高齢者の割合は6割を超えており、特に歩行中死者数の約8割は高齢者であり、また、死亡事故の3割以上が高齢運転者によるものであるなど、高齢者の交通事故防止が課題である。


2 事業目的

平成30年度を初年度とする総合5か年計画（しあわせ信州創造プラン2.0）において、「2022年までに年間の交通事故死傷者数8,500人以下」とする抑止目標が掲げられているところ、同目標を達成しつつ、更なる交通事故の減少や交通の円滑化を図り、日本一安全・安心な信州を目指す。

3 予算のポイント・主な取組（当初予算又は補正予算時の実施予定）

①交通安全意識の醸成


- 交通安全教育（チャレンジ号等）の実施
- 高齢運転者に対するドライブレコーダーを活用した教育
- 横断歩道ルール・マナーアップの推進



参加・体験・実践型交通安全教育（チャレンジ号）

②道路交通秩序の維持


- 事故多発路線等における白バイ・パトカーによる街頭活動
- 交通事故に直結するおそれのある違反に重点を置いた交通指導取締り
- 交通事故事件捜査の高度化



交通指導取締り

③安全で円滑な交通環境の整備

- 交通事故防止と交通の円滑化に資する交通安全施設の整備



交通安全施設整備

④適正な運転免許行政の推進

- 認知機能検査及び高齢者講習の円滑な実施

4 成果指標

（推移の凡例 ↑：改善 ↓：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R2年度		R3年度		R4年度		R4年度 目標値	達成 状況	設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移				
①	交通事故死傷者数	人	5,802	5,741	↑	5,657	↑	8,500	達成	交通事故死傷者数は減少傾向にあるものの、高齢者による交通事故や悪質・危険違反が後を絶たず、交通安全意識の醸成、道路交通秩序の維持、安全で快適な交通環境の整備等が求められているため。	
②											
③											
④											
⑤											


5 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R4年度	21,562	2,966,287	△ 184,746	2,803,103	869,818	2,588,375	-
R3年度	0	2,879,156	△ 136,264	2,742,892	856,593	2,665,756	-
R2年度	0	3,053,586	29,139	3,082,725	936,777	2,906,863	-

事業名	交通安全対策の推進事業	部局	警察本部	課・室	交通部
-----	--------------------	----	------	-----	-----

6 主な取組実績と成果

<p>①交通安全意識の醸成</p> <ul style="list-style-type: none"> 交通安全教育車（チャレンジ号）による安全教育を県下190箇所において実施し、延べ3,788人が体験したほか、横断歩道ルール・マナーアップ運動を3年連続で実施し、横断歩道は歩行者優先であることをラジオCMによりドライバーにリアルタイムで呼び掛けた結果、ラジオ聴取率は約10%で、J A Fの調査では信号機のない横断歩道における停止率は7年連続全国1位という結果であった。 <p>②道路交通秩序の維持</p> <ul style="list-style-type: none"> 可搬式速度測定器や飲酒検知器等の保守点検を定期的実施し、通学路における交通事故の抑制と悪質危険運転者を徹底検挙し、交通事故の抑制を図った。 <p>③安全で円滑な交通環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 交通事故防止と交通の円滑化を図るため、交通信号機の新設8か所と歩車分離式信号機8か所を整備したほか、老朽化した制御機の更新や視認性の向上と省エネ効果をもたらす信号灯器のLED化、摩耗した標示の補修事業などを実施し、交通事故死傷者数を8,500人以下に抑止した。 <p>④適正な運転免許行政の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 高齢運転者(75歳以上)に対する免許更新時の運転技能検査・認知機能検査・高齢者講習と、更新時以外の臨時の認知機能検査・高齢者講習に係る対策を実施した。〔運転技能検査：1,374人〕〔認知機能検査：更新時65,429人、臨時2,318人〕〔高齢者講習：更新時68,027人 臨時45人〕 一定の病気や認知症等の疑いがある運転者に対する安全運転相談を実施した。〔安全運転相談件数 4,860件〕 	 <p>交通安全教育車（チャレンジ号）</p>
---	--

7 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	交通事故死傷者数	R3年度推移	↗	R4年度推移	↗	達成状況	達成
警察官による街頭活動や高齢者等に対する安全教育等を強力に推進するとともに、交通安全施設の整備を計画的に行った結果、交通事故死傷者数は抑止目標を大幅に下回り、目標達成できた。							
指標②		R3年度推移		R4年度推		達成状況	
指標③		R3年度推移		R4年度推		達成状況	
指標④		R3年度推移		R4年度推		達成状況	
指標⑤		R3年度推移		R4年度推		達成状況	

8 今後の事業の方向性

(1) 令和4年度の取組実績、成果指標の分析及び県民の意見等を踏まえた課題
令和4年中の交通事故発生件数、負傷者数は、前年と比べ減少し、死傷者数は抑止目標を達成した。しかしながら死者数は前年を1名上回ったほか、高齢者人口の増加等を背景として、死者数全体に占める高齢者の割合は約6割で、死亡事故の約3割が高齢運転者によるものであるなど、高齢者の交通事故防止が課題である。
(2) 翌年度以降の事業改善の方策
上記課題のほか、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが緩和されたことに伴い、これまで以上に交通事故の発生が懸念されることから、高齢者の交通事故防止を重点に、チャレンジ号の高機能化等により、参加・体験・実践型教育の更なる推進を図るとともに、運転免許の各種講習の充実化を図る。また次代を担う子供の安全確保のため、交通事故に直結する悪質・危険違反取締りのための装備資機材及び交通事故のない安全で快適な交通環境の整備のための信号機等交通安全設備の充実化を図る。

事業名	交通安全対策の推進事業	部局	警察本部	課・室	交通部
-----	-------------	----	------	-----	-----

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
1	交通関係講習経費	711,450 千円	707,850 千円	824,017 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	交通関係講習経費	直接 委託	<ul style="list-style-type: none"> 講習用教材、講習用機器の整備等 受講通知、受講者管理業務 運転シミュレータ、各種講習用機器のリース料 安全運転管理者講習、行政処分者講習、違反者講習等各種講習に要する委託料 安全運転管理者講習実施回数70回、受講者数11,326人	

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
2	交通安全教育推進事業	15,234 千円	16,612 千円	16,572 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	交通安全教育推進事業	直接 委託 負担金	<ul style="list-style-type: none"> 季別交通安全運動活動への支援、交通安全教育知識向上のための講習会の実施 高齢者を中心とした運転適性診断の実施、ドライブレコーダーを活用した教育、チャレンジ号等による交通安全教育の実施 交通事故ゼロチャレンジ事業への負担金 交通安全教育車（チャレンジ号）による安全教育を県下190箇所において実施し、延べ3,788人が体験。	

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
3	交通指導取締経費	115,959 千円	125,594 千円	159,855 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	交通指導取締経費	直接 負担金 補助金	<ul style="list-style-type: none"> 交通指導取締りに要する経費、交通指導取締機器の整備、修繕等に要する経費 日本道路交通情報センター、子供自転車大会等の負担金 長野県交通安全協会の交通安全対策事業に対する補助金 定置式速度測定器3台、記録式飲酒検知器2台整備	
2	交通事故捜査経費	直接	<ul style="list-style-type: none"> 交通事故捜査用資機材等の整備、交通事故記録装置点検料等 交通基本情報管理システムの維持管理経費 交通事故記録装置の2台の撤去・1台の点検、車軸セット等の機材導入	

細事業 No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
4	交通安全施設整備事業		1,831,843 千円	1,592,360 千円	1,360,402 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	交通安全施設整備	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・交通信号機の新設、高度化（LED化・歩車分離等）、更新整備 ・道路標識・標示の整備等 交通信号機新設8基、制御機更新157基、歩車分離化8か所他		

細事業 No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
5	駐車対策推進事業		232,377 千円	223,340 千円	227,529 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	駐車対策推進事業	委託	<ul style="list-style-type: none"> ・道路使用許可申請された工事等について、条件の履行、原状回復等の調査委託 ・自動車保管場所現地調査、標章交付業務の委託 ・駐車監視員による放置車両確認事務委託 ・放置違反金収納に要する経費 駐車監視員による放置車両確認標章貼付件数630件		